

硫酸銅の結晶模型作り

2013. 1. 23 小樽分子模型の会 斎藤一郎

ichirokasetu@yahoo.co.jp <http://www17.plala.or.jp/ichirokasetu/>

●2013年仮説実験授業 冬の京都大会に参加しました

1月4日～6日に、ハートピア京都とザ・パレスサイドホテルを会場に行われました。全体会では、板倉さんの元気な講演や、阿部さんの板倉賞受賞記念講演を聞きました。阿部さんの講演はエゴマの研究発表で、わかりやすく楽しんで聞くことができました。



●硫酸銅の結晶模型作り

最近、冬の大会のナイターは、参加人数も少ないので、完成できなくてもいいから、難しい原子模型に挑戦してます。今回は硫酸銅の結晶模型に挑戦しました。こんな難しい課題なのに、ボクも含めて6人もの挑戦者が集まりました。昨年の刈谷での冬の大会でも硫酸銅の結晶模型に挑戦しましたが、銅を基準に並べ、その間に硫酸分子と水分子を入れようとし、結局、組み立てられませんでした。今回は昨年11月に札幌で行った石膏の結晶模型作りと同じく、右の写真のように硫酸を先に並べました。



講師には愛知の山田正男さんをお願いしました。正男さんは結晶構造や分子構造を調べ、自分で計算し、組立台や角度定規、孔定規を作ってくれます。ただ、最近は、ただ作るのではなく、挑戦者に構造を考えさせたり、できるだけ手伝わなかったりと、色々考えているようで、ずいぶんと作成に時間がかかるようになりましたが、その分、構造も少し見えるようになりました。





● 6人中4人が完成できました

4日は夜10時から2時まで作り、5日は夜8時から明け方5時まで作りました。考えながら作っているのでも、今までよりずっと時間がかかりましたが、自分でもう一度作ってみようと思えるようになったことが大きな収穫です。

最初に上の写真の文ちゃんが完成させ、次に、途中から引き継いだ武田さん（右）が完成させました。ボクが終わったのは明け方の5時で、久しぶりに朝まで分子模型を作ってしまったが、完成できて良かったです。

ボクの作った硫酸銅は愛知の斉藤裕子さん（右下）にプレゼントしました。昨年の刈谷大会の約束でしたから完成したら渡そうと思ってました。とても喜んでくれたので、良かったです。授業で使ってくれるとうれしいなー。

